

5病棟の生活のひとコマ 46

3月の誕生会は、「原田さんとゆかいな仲間たち」の皆さんがバンド演奏をしてくださいました。卒業メドレーでは、手を叩いたり、一緒に歌ったり、涙を流したりする患者さんもいました。また、めずらしい外国の楽器「鼻笛」を使った春の童謡メドレーでは、優しい音色に患者さんたちはうっとりしていました。

(児童指導員 筒井 皓太)



やまびと情報
information
情報コーナー

今月の作品は、「オレンジ色の花」です。オレンジ色はビタミンカラーで元気の出る色です。大きい花や小さい花、それぞれ個性豊かな花が咲いています。皆さんもぜひお花畑に来て、元気いっぱいになつてください。

(児童指導員 筒井 皓太)

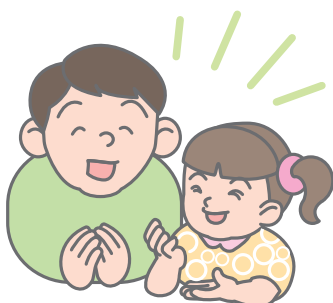


通所支援事業



通所支援事業の横と縦?!

通所支援事業は、生活介護・児童発達支援・日帰り短期入所という事業を実施しています。生活介護は18歳以上の方を、児童発達支援は未就学児の方を、日帰り短期入所は学籍児の方を対象にそれぞれの事業を行っています。なので、通所支援事業の空間は、子どもからおとなまで、みんなで一緒に過ごしています。そういった意味では、通所支援事業は横(同世代)の世界だけではなく、縦(異年齢)の世界もあります。それは、とても面白い世界です。子どもも、お兄さんやお姉さんの姿を見ることで学んだり、察したりする機会を得たり、静かに見守られる環境



は、とても面白い世界です。子どもも、お兄さんやお姉さんの姿を見ることで学んだり、察したりする機会を得たり、静かに見守られる環境

を得ています。

一方、おとなの皆さんは子どもを見て和んだり、笑顔になったり、「ぼく・わたしをかまって！」とまだまだ甘えたい姿を見せてみたりしています。一緒に過ごすことで、「こんな姿もあつたんだあ〜」と職員にとっては、知る機会になります。

どの人々にとっても横(同世代)のつながり・世界は大切ですが、横だけではなく、縦(異年齢)のつながり・世界も大切なんだあ〜と感じます。小学校や中学校等の学校では、横(同世代)の世界にどっぷり…とつかります。だからこそ、それら以外では縦(異年齢)を体験してみることも大事な経験だと感じています。そういった意味では、通所支援事業はさまざまな経験をやる機会の場合にもなっているのかなあ…と思う今日この頃です。

(主任児童指導員 丸澤 由美子)